

エアコンダクト 断熱性2倍

岡崎の車部品メーカーが開発

自動車部品のセキソー(愛知県岡崎市)は、従来に比べ断熱性を二倍に向上させた車のエアコンのダクト(管) 写真を開発した。トヨタ自動車が一発売したミニバン「ノア」「ヴォクシー」に初採用された。エアコンのエネルギー消費を抑制できるため、車の電動化にも対応する製品と位置付けている。

開発したのは車の二、三列目へ風を送る天井エアコンダクト。現在は非発泡の樹脂が主流だが、セキソーはポリエチレンを発泡させることで断熱性を上げ、初めて量産化にこぎつけた。天井の内張りの中を巡らせる大型な部品ながら



九百五十gと軽い。これまで課題だった結露も抑制できる。

同社幹部は「発泡させることで材料の使用量も減らせる上、自社内で100%リサイクルできる」と強調する。このほかエンジン下部の「エンジンアンダーカバー」の新製品もノアとヴォクシーで採用。騒音抑制を25%向上させた。